

# 外科的高血糖 学習整理シート

周術期になぜ血糖が上がるのか、何を観察するのかを整理するための無料PDF

外科的高血糖は、糖尿病がなくても手術侵襲によって一時的に血糖が上がる状態です。このシートは、なぜ起こるのか、なぜ測定するのか、何を押さえるかを流れで整理するための補助資料です。

## まず押さえないこと

- ・外科的高血糖は、手術侵襲に対する生体反応の一つです。
- ・糖尿病がなくても起こりうるため、周術期では血糖測定が必要になることがあります。
- ・高血糖は創傷治癒の遅れや感染リスクの上昇につながるため、観察と管理が大切です。

## 外科的高血糖はなぜ起こるのか

手術侵襲	生体反応	結果
手術・麻酔・出血・疼痛などのストレス	カテコールアミン、コルチゾール、グルカゴンなどが分泌される	糖新生・グリコーゲン分解が進み、血糖が上がる

ポイント：糖尿病の有無だけで判断するのではなく、手術侵襲そのものが血糖上昇を引き起こすことを押さえておくと整理しやすいです。

## なぜ周術期に血糖測定をするのか

糖尿病でなくても、侵襲によって高血糖になることがあるため  
高血糖が続くと、創傷治癒遅延や感染リスク上昇につながるため  
血糖変動が大きいと全身状態の安定にも影響するため

## ここで押さえないこと

周術期の血糖測定は、糖尿病患者さんだけを見るためではなく、手術侵襲による高血糖を見逃さないためにも行われます。

## 看護で見たい観察ポイント

観察したいこと	見たい理由
血糖値の推移	周術期の高血糖の有無、変動の大きさをみる
創部の状態	創傷治癒の遅れや感染兆候につながらないかみる
発熱・炎症所見	感染徴候がないかを確認する
全身状態	侵襲からの回復や代謝状態を総合的にみる

## 実習や試験で整理したいこと

外科的高血糖は『手術侵襲に対する生体反応』として説明できる  
糖新生・ホルモン分泌・血糖上昇の流れを言葉にできる  
糖尿病でなくても周術期血糖測定を行う理由を説明できる  
高血糖が創傷治癒や感染に影響することを押さえている

### 学習メモ

- ・今日押さえたこと：
- ・まだ分かりにくいこと：
- ・実習や記録でつなげたいこと：

## 最後に

外科的高血糖は、単に血糖値が高いという話ではなく、手術侵襲に対する生体反応として理解すると整理しやすくなります。

このシートが、実習前の確認や、授業・国家試験の復習に少しでも役立てば嬉しいです。